



令和4年5月26日  
午前・**午後** 2時4分受領

No. 1

令和4年5月26日

議長	事務局長	係

愛南町議会議長 原田 達也 殿

愛南町議会議員 尾崎 恵一

## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

( 答弁一括方式 ・ **答弁分割方式** )

質問の要旨	答弁を求める者
<p>1. 雇用・人材確保の推進について</p> <p>町は第3次愛南町総合計画の中で、「活力ある産業を育てる町づくり」を政策として、雇用・人材確保の推進に取り組んでいくことを掲げています。</p> <p>現在、愛南町は有効求人倍率が非常に高い状態にあります。愛媛労働局が4月26日に発表した令和3年度の県内全体の有効求人倍率は1.31倍でありました。一方、愛南町就職支援センターにおける有効求人倍率は、過去3ヶ年の平均で3.44倍となっています。これは、100人の求職者に対して344人分の求人があるということでありまして、他の自治体よりも愛南町は、深刻な人手不足の状況であることが伺えます。</p> <p>この要因として、一つは、人口減少や少子高齢化の影響により、15歳以上65歳未満の生産年齢人口が減少していること、もう一つは、求人を募集する事業者と職を求める求職者のニーズが一致しない雇用ミスマッチにより、就職希望者の2人に1人程度しか就職できていない平均就職割合55%の状況が考えられます。</p> <p>業者が町の就職支援センターに求人を掛けても、なかなか欠員が補充できない状況となっています。</p> <p>更に、事業の承継者や労働人材の不足も問題となって</p>	町長

きています。

そこで、以下の3点についてお伺いをいたします。

- (1) 就職支援センターにおける雇用促進の取り組みについて。
- (2) 事業者と求職者の雇用ミスマッチ解消の為に、どのような形で進めていくのか。
- (3) 商工業者創業・事業承継問題の現状について。

## 2. アフターコロナにおける観光振興について

コロナの影響により、観光事業は低迷を余儀なくされていますが、行動制限のないゴールデンウィークを3年ぶりに迎えることができました。

愛南町もゴールデンウィークには、須ノ川キャンプ場も1日40張り限定でしたが、常に満杯状態でありました。また、海中公園やスキューバダイビングも期間中、約900名の方が訪れた模様であります。

そういう中、町は新たな取り組みとして、民間活力を取り入れた「愛南町観光振興等イベント補助事業」や「モンベルフレンドタウン」への登録、或いは、「ワーケーション誘致推進事業」などに取り組んでいくようであります。特に、「ワーケーション誘致推進事業」については、人口減少や空き家対策が課題となっている愛南町において、空き店舗等の活用により新しい働き方を検討している企業や、創業を目指す方々を呼び込むことができれば、愛南町経済の活性化につながるものと考えます。

そこで、以下の3点についてお伺いをいたします。

- (1) 愛南町観光振興等イベント補助事業に取り組むことになった背景と、その主な内容について。
- (2) 愛南町観光振興推進事業として、町は今回モンベ

町長

ルフレンドタウンに登録しましたが、その主な内容と登録メリットについて。

(3) 愛媛県及び南予9市町は、「南予地域ワーケーション誘致推進協議会」を設立して、ワーケーション誘致に取り組んでいますが、愛南町の自然と絡めたワーケーションや地域の空き店舗などを活用したサテライトオフィスの誘致について、町はどのように進めていくのか。